

きらっとヒカル
北秋田の企業 Vol.12

株式会社 フジモト



【会社概要】
 ◆所在地 北秋田市坊沢字深閑沢 25-77
 ◆主な事業 建設機械レンタル・販売等
 ◆従業員数 43人
 ◆電話番号 0186-62-4140



作業状況①



作業状況②

何をしている会社？

当社では、建設業・設備業等に從事されている企業を中心に重機・車両のレンタル、修理、販売、更に工事現場で必要となる資材販売を行っております。また、最近では自動車整備工場にも力を入れており、個人や企業の車検業務や車両の修理も行っております。

会社のアピールポイントは？

全営業所で協力しながらお客様の要望に沿えるよう、迅速・正確に対応し、また的確な提案も含め、お客様が「フジモトに任せておけば大丈夫」と安心して当社をご利用いただけるようお客様第一を心がけております。

若手社員
の声



畠山 拓さん(27)

入社3年目になりますが、入社当初より修理の際はお客様にお出した機械に故障がなく、安心してご利用いただくようお客様の要望に沿った修理を心がけています。

ショー
ヨリガシ



私が見た北秋田

Kitaakita from My Eyes NO.21

「マタギの心」

今回の「私が見た北秋田」のため、阿仁の奥に行ってきました。大好きな当温泉を通り過ぎて、マタギの鈴木英雄さんのお宅に伺って、阿仁ならではの「マタギ」に関して興味深い話を聞きました。

英語では「ハンター(狩猟者)」という言葉がありますが、私からすると「マタギ」に対してこの言葉を使ってしまうとピンと来ません。山にいる神様を尊重しながら、神様からの「授かり物」である熊をいただき、平等に分け合うこと…。キリスト教とはいえ「独立心」が最優先される自分の故郷と一味違いますね。

銃を持って山へ熊狩りに行くだけでは「マタ

ギ」になれないということは、このような心の違いですかね。

尊重する山の神様が女の神様だという話も聞きましたが「レディースファースト」の文化で育った私から見れば、なんとか納得！

4月9日(月)21時からBSジャパンの「ワタシが日本に住む理由」という番組で、鈴木さんとの話の様子が放送されます。ぜひご覧ください。



学習の成果を報告

合川小児童が「いぶりがっこ」を市長に贈呈

合川小学校(藤嶋勇人校長)の6年生の児童4人が、3月2日に市役所を訪れ、津谷市長に保存食として古くから伝わる「いぶりがっこ」について学習した成果を報告するとともに、3年目の取り組みで完成した「三代目合川小がっこう」を贈呈しました。

児童たちは、いぶりがっこの作り方や歴史などを説明したあと「地域と協力して取り組む学習を下級生にも伝えていきたい」などと述べました。

津谷市長は「将来はいぶりがっこ作りで起業し、地域を元気にしてほしい」とエールを送りました。



大太鼓の演奏で卒業を祝福

市内の小学校で卒業式

市内の小学校7校で3月16日に卒業式が行われ、卒業生が保護者や地域への感謝を胸に学び舎を巣立ち、今後の中学校生活に向け希望を膨らませました。

このうち綴子小学校(伊藤晃校長)では、下町大太鼓保存会(鈴木祐悦会長)が大太鼓を打ち鳴らし卒業を祝福するとともに、20人の卒業生を見送りました。卒業生は大太鼓の音が響き渡る中、列になって待ち構えていた在校生や恩師と握手を交わし、最後には卒業生が大太鼓の演奏を体験したり、記念撮影をして6年間通った校舎に別れを告げました。



生前の功績が称えられる

故和田勇治氏叙勲伝達式

元北秋田市議会議員で、昨年10月に逝去された和田勇治氏(享年84歳・上杉)が、このほど旭日単光章を受章し、2月23日に市役所で叙勲の伝達式が行われました。和田氏は、昭和63年から平成18年まで5期18年にわたって合川町議会議員及び北秋田市議会議員として町政及び市政の発展に尽力されました。

伝達式には長男の一哉さん(61歳・秋田市)が出席。一哉さんは「議員としての父の活動が市政に少しでもお役に立ったということであれば、非常に嬉しく、故人も喜んでいと思う」と話しました。



若い世代に魅力発信

地域おこし協力隊委嘱状交付式

北秋田市で3人目となる地域おこし協力隊の委嘱状交付式が、3月1日に市役所で行われ、福島県郡山市出身の吉田高之さん(24歳)が移住コーディネーターとして着任しました。

吉田さんは、旧合川町の山村留学制度「まどび学園」に小学4~6年の3年間滞在した経験があり、いつかは北秋田市に戻って活躍したいとの思いから地域おこし協力隊に応募。吉田さんは「自分と同じ若い世代に住みたいと思ってもらえるよう、北秋田市の魅力を発信していきたい」と抱負を述べました。

